



語り部通信

令和8年冬号（通算第44号）

(公財)歴史のみえるまちづくり協会
ボランティア 語り部ふくい

今年は午年・・・ウマくいきますように

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、松平春嶽公（16歳）は福井に藩主として赴くに当り、水戸斉昭公を訪ね藩主たるべき心得を問うています（九力条）。斉昭公は問いの一つの武道修練について・・・越前国には馬威しがある。武勇高揚と領民との融和に良い・・・との旨を後日書面で回答しています。

幕末・明治・大正・昭和を生き抜いた菱川師福が描いた「馬威し図屏風」は、子どものころ実際に目を見たものを描いたことで知られており、屏風は菱川師福が九十二歳時の作品といわれています。この頑張りには感動せずにはられません。

今年も健康でウマく行きますように。語り部活動、頑張っていきましょう!!

■福井県観光ボランティアガイド研修

令和7年10月16日は滋賀県長浜方面。語り部ふくいからは、参加者4名 他5団体総数19名で参加。竹生島長浜観光ボランティアガイド協会との意見交換会をしました。

令和7年10月30日は石川県七尾市方面。語り部ふくいから3名 他11団体から合わせて総勢38名。震災のつめ跡が残る能登。のと鉄道職員が「語り部」となり団体専用の語り部列車の運行開始、そして2025年4/6からは「震災語り部観光列車」として運行が開始されました。この日の語り部は地震発生時もこの列車に乗務中だったMさんと、当時の緊迫した状況や、車窓からみえる被災した建物や町々を涙ながらに語る姿に私達も胸が熱くなりました。

福井県観光ボランティア連絡協議会の主催の県外先進地視察研修会



■語り部ふくい先進地視察研修 in名古屋

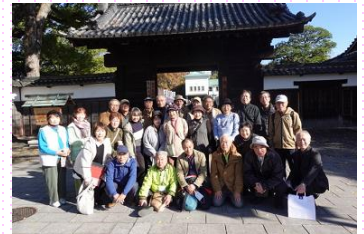
12月6日好天に恵まれ「語り部ふくい」の先進地視察研修として今回は名古屋に出かけました。研修先は、名古屋城・徳川園・熱田神宮でした。やはり金の鯨いいですねえ!



名古屋城



本丸御殿



■勉強会グループ、頑張っています。3グループを紹介します

継体天皇のあしおとグループ



今年は継体天皇の母の故郷江沼地区と北陸最大級の前方向後円墳の秋常山古墳群の現地見学会をしました。

越前の伝説グループ

定期的集まって、勉強会をしています。和気あいあいとした雰囲気自慢です。



市ボラセンでの定例会

お市の方の念持仏グループ

お市の方の三姉妹お江が再建したとされる京都の養源院と豊臣秀次公の墓所瑞泉寺に行ってきました。



■語り部ふくいは福井市の歴史掘り起こしにも協力!

清水地区 豊地区

毎年清水地区と豊地区の歴史まちあるきに協力しています。清水地区で11月3日に予定していた清水南地区の健康ウォークでの在田町、甕谷町、坪谷町の案内は、熊の出没で残念ながら中止になりましたが、下見では語り部会員も参加、11/3を担当する語り部5人を中心に清水町の歴史を学習しました。



清水地区乙坂山(芝摺城跡)



真宗山門徒派 専照寺

■第12回観光ボランティアガイド北陸大会in砺波

令和7年度(2025) 第12回 観光ボランティアガイド北陸大会砺波が11月11日(火)庄川生涯学習センターで、開催されました。34団体173名が参加しました。語り部ふくいからは5名の参加でした。庄川峡の見学では笏谷石によく似た「金屋石」に触れることも出来ました。



研修会の様子



ブログ うらのまの「語り部」ふくい



活動の様子や福井の歴史を発信しています。



ホームページ 歴NAVIふくい



ガイドや歴史講座などを紹介し、申込みを受け付けています。



YouTube 福井の歴史を紹介



福井の史跡や歴史などを配信しています。



よもやま話

笑顔で語り伝えることの大切さ

平野 和夫

普段、砺波市と言えばチューリップ・フェアを想像するのですが、ほかには何があるのだろう。こんな思いを抱きながら語り部ふくいのメンバー5人はJR高岡駅に降り立ちました。迎えに来ていただいたのは砺波市観光ボランティアガイド「となみ野ガイド」の女性。とてもさわやかで明るく、すこし方言混じりで話されることに新鮮さを感じました。

会場の庄川生涯学習センターまで約30分。会場はすでに参加者34団体、173人で埋まっていました。開会式の後、各県代表から活動報告があり、開催地・となみ野ガイド発表者の一人は20代の男性でした。なぜこんなに若い人が？と思いました。話しぶりは郷土愛に富み、その後、町おこしでの和太鼓を一人で演じ会場を沸かせました。

砺波市は庄内流域に広がる扇状地の平野で「風・水・豊穰な大地」を売りにしているまちだそうです。そこから育まれたチューリップをすべての老若男女が愛することで一体性が生まれ、若いボランティアガイドの誕生にも繋がっていると感じました。砺波市は古い歴史遺産を持つまちではないようです。

午後からは3台のバスでコース毎に出発。私たちは、庄川挽物木地(木製の皿やお椀などを製作)、庄川峡遊覧船、庄川水記念公園、閑乗寺展望台「散居村、眺望」を周遊しましたが、なんとも伸びやかな自然いっぱいの空気を満喫できました。

バスの中ではガイドの方の笑顔、語りの上手さに退屈することなく、最後にガイドの方が歌う『チューリップの歌』…さいた さいた チューリップのはなが ならんだ ならんだ あか しろ きいろ どののはなみても きれいだな…に素晴らしい時間を持たせていただいてありがとう！との気持ちになりました。

敦賀市での開催後、消えゆくかのように思えた北陸三県交流会。また復活の兆しが見えたようで今後の交流に思いを馳せたいですね。



若手ガイドのおもてなし披露



となみ野ガイドの方々



庄川峡

(編集後記)

NHK大河ドラマ「豊臣兄弟」が始まりました！初回から山口馬也氏が扮する柴田勝家のインパクト有る登場でした！さて賤ヶ岳の合戦がどのように描かれるのか、福井を舞台に勝家、お市の方と三姉妹の絆は…？(´▽`)期待が高まりますね。

【発行】

(公財)歴史のみえるまちづくり協会
ボランティア 語り部ふくい